

人と自然が“ほっとな”まちの広報紙

え 報 び の

Public Relations



【特集】 深まる地域との絆
駐屯地開設から 30 年

2011
October
No.540

10

〈写真〉 国際交流フェスティバルでの綱引き大会 (P15)

写真で振り返る誘致活動



誘致運動決起集会には、市民約 2500 人が参加

陸上自衛隊駐屯地決定祝賀会



駐屯地の設置決定時には祝賀会が行われました



駐屯地開庁時の祝賀会



開庁時には、隊員が車両 40 台で市内をパレード



深まる地域との絆 きずな 駐屯地開設から 30 年

えびの駐屯地は、昭和56年12月に陸上自衛隊第24普通科連隊を基幹として開設以来30年の節目を迎えました。この間、えびの駐屯地は、地域住民と一体となって地域振興や災害救援活動など市民生活の安定に大きく貢献してきました。また、地域に密着した駐屯地として広く周辺住民に親しまれてきました。

えびの駐屯地の概要

えびの駐屯地は、宮崎県の北部と西部の防衛警備を担っています。総面積は、47万平方メートル(東京ドームの約10倍)です。

駐屯地設立時(昭和56年12月20日)は、師団改編で北海道千歳市の第7師団から移駐して再編成された第24普通科連隊が駐屯しました。

平成17年には、第24普通科連隊がコア部隊化され、えびの駐屯地には第24普通科連隊だけでなく、第8特科連隊第3大隊の移駐と第8後方支援連隊第4普通科直接支援中隊・特科直接支援中隊第3直接支援小隊

を誘致することで、地域の経済の活性化や過疎化に伴う人口減少の抑制を期待してのことでした。

昭和52年5月2日、区長会・商工会・旅館組合などが「えびの市陸上自衛隊誘致期成同盟会」の発起人会を開き、市内各団体や住民に呼びかけを行いました。

昭和53年1月24日、市役所広場で「自衛隊駐屯地誘致運動市民総決起大会」が開かれました。小雨の降る中、大会には、市民約2500人が集まりました。参加者は、パレードを行い、全市民の協力を呼びかけました。駐屯地誘致の署名運動も市内全域に広がり、1万5474人分の署名が集まりました(当時の市民の約57%、有権者の約77%)。

が新設され、新しい駐屯地となりました。

えびの駐屯地の隊員数は、開庁当初は、隊員数約950人規模(昭和56年12月20日現在)でしたが、現在では、約650人規模となっています。

盛り上がった誘致活動

駐屯地の設置にあたっては、市民・議会・行政などで活発な誘致活動が行われました。

昭和52年に「防衛計画の大綱」で、北海道の第7師団と第1戦車団を改編し、西部方面隊第8師団を増強しようとする計画がありました。その計画が出てから、宮崎・鹿児島・熊本県の10市町村がその候補地として名乗りを上げました。

えびの市では、市区長連合会が昭和52年3月10日、市と市議会に誘致の請願陳情書を提出。これを受けた市議会が調査を行い、同年5月2日、陸上自衛隊駐屯地誘致に関する陳情を採択しました。陸上自衛隊駐屯地

昭和53年6月9日、えびの市に普通科1個連隊を新設することが決定しました。

昭和53年7月1日、市では「自衛隊駐屯地対策委員会」を7月20日、議会では「自衛隊対策特別委員会」を設置しました。12月1日には、市民主体で構成する期成同盟会が「えびの市自衛隊駐屯地設置協力会」と改組し、受け入れ体制の整備を図りました。

昭和56年12月20日、陸上自衛隊えびの駐屯地がえびの市に完成しました。同日、開庁式と市内パレードが行われました。パレードには、隊員521人が参加。沿道には、万国旗がかざられ、多くの市民が日の丸の小旗を振って歓迎しました。

Interview

隊員にえびの市について聞きました。



瀬戸口隆文さん
第24普通科連隊対戦車中隊所属

えびの駐屯地での勤務は通算で25年で、飯野中学校で剣道の指導をして4年になります。剣道の指導を始めて20年近くなり、赴任先でも、剣道の指導をやってきました。これからは剣道の指導を通じて、地域に貢献できればと考えます。



山下輝明さん
第24普通科連隊第3中隊所属

3年前から飯野小学校で少女バレーの指導を行っています。近所の人に「指導をしてみらんね」と言われて始めました。えびのの子どもは素直でわからないことなどすぐ聞いてきます。これからは地域の子もたちに指導を続けていきたいです。



末永公孝さん
第8特科連隊第3大隊本部管理中隊所属

えびのに来て、7年目になります。えびのに赴任する前は、北熊本駐屯地での勤務でした。家族とえびの高原やクルソン峡などえびのの自然を満喫しています。近くに温泉があるのも魅力です。自然が身近にあり、子どもを育てる環境としては最高です。



酒井志将さん
第24普通科連隊第4中隊所属

えびの駐屯地での勤務は通算で9年になります。えびのに帰ってくる前は、大阪勤務でした。趣味の草野球や娘（小学2年）の学校などでの交流を通じて、地域の方の心の温かさを感じました。実は、妻がえびの出身者（大河平区）です。



えびの駐屯地司令・自衛隊後援会長杯グランドゴルフ大会



太鼓橋周辺の草刈りボランティア 写真提供：えびの駐屯地広報



えびの高原での歩道整備ボランティア 写真提供：えびの駐屯地広報

地域にとけ込む自衛隊員

駐屯地内の隊員

えびの駐屯地には、現在約650人の隊員が勤務しています。陸上自衛隊の各駐屯地では、大災害や有事の発生に備え、常に一定人数の隊員が寝泊りをしながら待機しています。

駐屯地内には、食堂、売店などがあり、駐屯地で生活する隊員は駐屯地内である程度のもをまかなえるようになっています。

隊舎は、ベット、シャワー室、調理室などがあり、隊員たちはそこで生活をします。主に、独身の隊員が生活しています。

駐屯地内には、日々の訓練を行うグラウンド、体育館など以外に、食堂、売店、医務室、浴場など生活に必要な施設が整備されています。

駐屯地には、基本的に関係者以外の立ち入りはできませんが、えびの駐屯地では、地域住民との交流などを目的として年に1〜2回一般公開を実施しています。

毎年行われるえびの駐屯地創立記

念事業は、市民参加型で、式典のほか展示訓練などが行われます。

地域での隊員

隊員は、市民として地域にとけ込んでいます。学校や地域の活動など積極的に参加しています。太鼓橋周辺や真幸駅周辺では、ボランティアとして草刈り作業を行っています。

京町温泉マラソンや霧島登山マラソンでは、選手としての参加はもちろんのこと、ボランティアとして大会の運営を支えています。



地域とともにあるえびの駐屯地を表現したロゴマーク

地域との絆・家族との絆

えびの駐屯地は、昭和56年に堀浦地区に開設され、北海道にあった第24普通科連隊が移駐してきました。今でも部隊のシンボルが北海道の尾白鷺なのは、そういう理由からです。私は、昨年12月に東京の朝霞駐屯地(体育学校)から、第26代の連隊長として赴任してまいりました。また、第15代のえびの駐屯地司令としても同時に就任し、えびの駐屯地の代表として市民の皆さん一人ひとりのとの交流に努めてまいりました。

私は、駐屯地の自衛隊員に「地域との絆・家族との絆」を深めることを要望し、私自身も、えびの市長、えびの市議会議長、えびの市区長会長、えびの市消防団長をはじめ多くのえびの市民の皆さんとの交流を深めております。

本年は、えびの駐屯地開設30周年の節目の年です。これからも、えびの市とえびの駐屯地が家族の絆のように固く結ばれる関係になれるよう精一杯努力したいと考えています。きばっど「えびの」！！



防衛省陸上自衛隊
第24普通科連隊長
兼えびの駐屯地司令
1等陸佐

仲 司さん



高圧発電車の空輸(平成20年県総合防災訓練)



被災地宮城県三陸町で住民に支援物資を配る隊員 写真提供:えびの駐屯地広報



平成17年水害で避難者を運ぶ隊員 写真提供:えびの駐屯地広報



真幸山津波で復旧作業にあたる自衛隊員

その財源とすることができません。えびの市では、防衛省からの補助金等で生活環境の整備として施設整備や道路整備を行っています。この補助金で市文化センターや王子原運動場、永山運動公園など整備しました。市内での防衛関連補助事業費(平成21年度末現在)は、約22.1億円。このうち国の補助金額は約16.2億円となっています。今年、えびの駐屯地創立30周年を迎える節目の年です。市では、今後も地域・陸上自衛隊えびの駐屯地と連携を密にし、自衛隊があることを生かしたまちづくりに取り組みます。

自衛隊は、常に訓練を重ね、大災害や有事の発生に備えています。えびの市や周辺地域で大規模な災害が発生した場合など、えびの駐屯地の存在は大きいものです。台風・水害等でえびの市災害対策本部が開設された場合には、災害対策本部会議に駐屯地の隊員が入り、えびの駐屯地の隊員が、いつでも出動できるよう駐屯地と連絡調整を行っています。今年3月11日に発生した東日本大震災では、えびの駐屯地の隊員延べ141人が被災地の福島県いわき市、宮城県気仙沼市、南三陸町に行き、給水支援や炊事支援などを行いました。えびの市では、過疎化に伴う人口減少が進展しています。若い世代の多いえびの駐屯地があることで、人口減少に歯止めをかけています。隊員がえびの市に暮らす経済的効果も大きなものです。防衛施設周辺などは、自衛隊などの活動により生じる障害について、防止または軽減するための工事に対し、防衛省からの補助金や交付金を

大きな存在の駐屯地

県を越えて口蹄疫発生時の防疫体制を強化
湧水町と相互応援協定を結びました



手を取り合う湧水町長と市長

えびの市と湧水町は、口蹄疫や鳥インフルエンザなどが発生した時の防疫業務（情報共有、県境での消毒作業など）等を協力して行う協定を9月27日、えびの市で締結しました。

宮崎県内では、昨年度、口蹄疫や鳥インフルエンザが多発し、えびの市でも4件の口蹄疫が発生しています。えびの市の口蹄疫では、上浦地区で湧水町と共同で防疫作業を行いました。口蹄疫等が発生した場合、短期間での防疫業務が

求められます。2市町では、相互に情報を共有することで迅速な防疫体制を築くことなどを目的として協定を結んだものです。

協定にあたり村岡市長は「えびの市の口蹄疫は、湧水町をはじめ多くの協力があって早く終息した。この協定締結を機に、ますます県境市町の協力を図っていききたい」と挨拶。湧水町の米満町長は「昨年の発生では、協力して的確に対応できた。この協定だけでなく、協力交流をしたい」と挨拶しました。

虐待を受けたと思われる子どもがいたらすぐ連絡を
11月は「児童虐待防止推進月間」です



今年の標語「守るのは 気づいたあなたの その勇気」

児童虐待防止には、地域に暮らす一人ひとりの「気づき」が大変重要です。

次のような場合は、子どもに対して虐待が行われている可能性があります。

- たたく音や叫び声が聞こえる
- 不自然な傷が多い
- 衣服や体がいつも極端に汚れている
- 小さな子どもを置いて、頻繁に外出している

あなたや周囲に「虐待を受けたと思われる子ども」がいたら、すぐに都城児童

相談所（☎0986・22・4294）や市役所に連絡（通告）してください。通告は子どもを守るためのもので、連絡者の秘密は厳守します。

今、目の前で行われている暴力を止める場合は、110番へ、重篤な体への傷害、命が危ふまれる場合は、119番に通報してください。

【お問い合わせ先】
市福祉事務所子育て支援係
☎35・1111
内線267・269

財政の健全化判断比率を公表

市では、財政の健全化判断比率などを算定しましたので公表します。

【公表の趣旨】

毎年度、地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、決算に基づいて健全化判断比率と資金不足比率を算定します。算定後は、監査委員の審査を受けた上で、議会に報告し、住民に公表することが義務付けられています。

【えびの市の状況】

えびの市の健全化判断比率と資金不足比率は、下表のとおりとなりました。

健全化判断比率、資金不足比率のうち、1つでも早期健全化基準を上回ると、健全化計画を定め、県知事へ提出し、計画を実施しなければなりません。

表を見ると分かるように、健全化判断比率、資金不足比率ともに、基準を下回ることであります。

市では、引き続き、健全な財政運営に全力で取り組んでいきます。

■お問い合わせ先
市財政課財政係
☎35・1111
内線381

【用語の説明】

- ①実質赤字比率
標準財政規模に対する一般会計の赤字の割合
- ②連結実質赤字比率
標準財政規模に対する全会計の赤字の割合
- ③実質公債費比率
22年度に支払った一般会計の借金返済額等の標準財政規模に対する割合
- ④将来負担比率
将来、市が支払う負担（市債務残高等）の標準財政規模に対する割合
- ⑤資金不足比率
公営企業ごとの資金不足額の各公営企業の事業規模に対する割合
- ⑥標準財政規模
財源の用途が特定されずどのような経費にも使用することができる一般財源（市税・地方交付税等）の標準的な規模を表すもので、えびの市の場合は、平成22年度で約67億円。

えびの市の健全化判断比率と資金不足比率

◎健全化判断比率

平成22年度決算に基づき、健全化判断比率を算定した結果、比率は以下のとおりとなり、いずれの指標についても、早期健全化基準（財政状況が悪化した場合に、財政の早期健全化を図るべき基準）を下回りました。

健全化判断比率	えびの市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—（※1）	14.14%	20.0%
②連結実質赤字比率	—（※2）	19.14%	35.0%
③実質公債費比率	8.8%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	—（※3）	350.0%	—

（※1、※2）①の実質赤字比率と②の連結実質赤字比率が「—」となっているのは、実質赤字額や連結実質赤字額がないため、比率が「ない」ことを示しています。
（※3）「将来負担比率」の「—」は、将来負担比率が算定されず、現時点における市の借入金の残高や、将来支払うべき負担金等が、将来の財政を圧迫する可能性が低いことを示しています。

◎資金不足比率

平成22年度決算に基づき、各公営企業における資金不足比率を算定した結果、資金不足を生じた公営企業はないため、比率は「ない」ことになり、経営健全化基準（経営の健全化を図るべき基準）を下回りました。

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
病院事業会計	—	20.0%
観光特別会計	—	20.0%

あの時、あの頃

あの時のえびの市を広報紙で振り返る

今月は、28年前の広報紙にタイムスリップ



「えびの市初、サイクリングラリー」

9月18日、宮崎県サイクリングラリーがえびの市で開かれました。県内各地から約200人が参加。秋風を受け、えびの路のサイクリングを楽しみました。

この大会は、宮崎県サイクリング協会創立20周年を記念して開かれました。

(昭和58年10月掲載)



「四半的大会に500人が参加」

第1回四半的えびの市大会が10月9日、えびの勤労者体育センターで開かれました。

宮崎県四半的弓道連盟えびの支部主催で開かれたこの大会には、県内外から約100チーム500人が参加。熱戦を展開しました。

(昭和58年10月掲載)

「観光モニターに池島兵児踊を披露」

県内観光総合キャンペーンで10月5日、池島兵児踊保存会がえびの高原で郷土芸能を披露しました。

これは、県観光協会が県観光の活性化を図るため、初の試みとしてモニターを募集。福岡市からのモニター約40人に、同保存会約70人が兵児踊などを披露しました。

(昭和58年10月掲載)

※このコーナーは、これまでの広報紙の記事の一部抜粋、修正して掲載しています

がんばる！公民館

地域づくりを基本に

(加久藤麓自治公民館)

加久藤麓区は、総戸数114戸で人口は、293人です。地区内には、島津義弘の山城の久藤城跡地(現加久藤城跡)があります。地区の組織は、お母さんたちのグループあじさい会、名前を久藤城にちなんでつけた青壮年部の久藤会と育成会で構成し、各種行事に取り組んでいます。

今年9月、区民約200人が参加しての防災訓練を行いました。女性グループ主体での200人分の炊き出し訓練などを行いました。同時に防災マップ「わが家のそなえ」を作成し、全戸に配布しました。特に隠居住まいの家庭にも配付したところ。防災マップの内容は「火災発生時の対応」「台風・豪雨時の対応」「地震発生時の対応」などになっています。みんなが麓区に「生まれて良かった。住んで良かった」と言われるような地区でありたいと願っています。

◎自公連だより

※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称



区民約200人が参加しての防災訓練



加久藤麓自治公民館長 赤川一郎さん



ジオパーク発掘調査隊

その25

今月は、曾於市財部町にある「溝之口発電所」と曾於市総合大学「楽しい山行」講座を紹介します。

■溝之口発電所

溝之口発電所は、曾於市のジオサイト「三連轟」の近くに作られた発電所です。明治43年6月の運転開始から101年が経過しています。

取水トンネルは、加久藤火砕流でできた溶結凝灰岩を手彫りなどで掘り進めて貫通させたものです。最大出力は230キロワット、最大使用水量は1・11立方メートル/秒と規模の小さな発電所です。

現在も発電を行っているため、取水口からは、立入



手彫りされた取水トンネル



「楽しい山行コース」参加者

禁止となっていますが、遊歩道沿いを眺めるだけでも歴史的に貴重な施設であると感ずることが出来ます。

■「楽しい山行」講座開講
曾於市民は、曾於市総合大学(生涯学習講座)の「楽しい山行コース」で、日本ジオパーク委員会に認定された「霧島ジオパーク」と登山の勉強をしています。しかし、今年は新燃岳が噴火しているため、影響のないえびの岳や甕岳、郷土の森などで登山を楽しんでいます。これを機会に、曾於市民が霧島ジオパークに深く関わりをもつて、霧島ジオパークを盛り上げていきたいものです。



自宅にあるカラオケ機器で練習を行う中津さん

中津清七さん

カラオケの楽しさを 多くの人に伝えたい

Seishichi Nakatsu
なかつ・せいしち / 83歳 / 下島内 / 趣味：カラオケ、たこ作り（今度、立体だこの大きいものを作る予定）

「カラオケ教室では、よく、皆さんに歌の上達よりも歌を楽しんでください。1に楽しさ、2にカラオケと話していただきます」と話すのは、えびの市高齢者クラブでカラオケ指導をしている中津清七さん（下島内区）です。

県の繊維関係の会社を退職後、えびの市に帰郷。カラオケ教室の指導など地域のリーダーとして、高齢者の生きがいづくりなどに努めてきました。その功績に対し、今年8月18日、宮崎県知事から表彰を受けました。

カラオケの効能は、歌の上達だけではないそうです。「カラオケ教室では、発声練習から行っています。あいうえおからの発声で、腹筋などを鍛える効果があります。さらに、体だけではなく、心の活性化もできるのではないかと考えます。楽しみがある人は、一生懸命になります。そ

のにより意欲がわいてきます」
教室での楽しみは歌だけではなくありません「教室の休憩時間には、他の参加者と歌や世間話で多くの人と交流を深めることができます」
「カラオケ教室で参加者から『先生、ここに来るとほっ

とします。楽しいです』と言われた時が、一番うれしいです」
「1人でも多くの人に自分で趣味を見つけ、楽しんでもらいたい」と語る中津さん「私もカラオケの指導を楽しんでいます。体の続く限りやっていきたいです」

えびの自慢のおいしい料理



◎今月一品 (サトイモのみそシチュー)

- レシピ**
- 【材料】** (4人分)
- サトイモ.....3個
 - ニンジン.....中1本
 - タマネギ.....1個
 - シメジ.....1パック
 - エノキ.....1袋
 - ハクサイ.....2枚
 - ベーコン.....100g
 - 小麦粉.....80g
 - バター.....60g
 - 牛乳.....50cc
 - みそ.....40g
 - 油.....少々
- 【作り方】**
- ①サトイモ、ニンジン、タマネギは皮をむき、食べやすい大きさに切る。シメジ、エノキ、ハクサイも食べやすい大きさに切る。ベーコンはせん切りにする。
 - ②鍋に油をひき、サトイモをいため、その後、ハクサイの葉の部分とベーコン以外の材料をいためる。
 - ③②に材料がかぶるくらいの水を加え、ハクサイの葉とベーコンを入れ、柔らかく煮る。
 - ④別鍋に、バターを溶かし、小麦粉、牛乳を入れ、とろみがつくまでいため（ホワイトソース）。
 - ⑤③に④を分離しないように少しずつ入れ、みそを加えて味を調える。

今月紹介するのは、上江保育園児にも大人気。「サトイモのみそシチュー」です。
サトイモには、独特の「ぬめり」があります。これはムチン、ガラクトタンという成分によるものです。ムチンには消化促進、ガラクトタンには免疫力向上作用があるといわれています。
料理のポイント、サトイモを良くいためることです。これをする事で、吹きこぼれしにくくなり、料理の効率が上がります。



【紹介者】 上江保育園
岡本富美子さん 松山洋子さん

えびのののの うまがもん

「えびのうまいもの」

vol.42



市内での交通死亡事故ゼロ継続中
交通安全を呼びかける

9月21日、飯野地区の藤坂付近の国道で秋の交通安全街頭キャンペーンが行われました。キャンペーンには、交通安全協会、小林地区建設業協会女性部など7団体、約40人が参加しました。参加者は、ドライバーにチラシとティッシュペーパーを配り「交通事故に気をつけてください」と呼びかけました。市内では、平成20年6月から交通死亡事故が発生していません。9月30日で交通死亡事故ゼロが1180日を越えました。



電気工事組合が高齢者宅を訪問
プロの技でボランティア

9月9日、えびの市電気工事業者組合の22人が、1人暮らしの高齢者の電気設備点検・電気の交換ボランティアを行いました。漏電等による感電事故や火災を未然に防ぎ、安心して暮らしてもらうことを目的に毎年行っているものです。今年も、京町地区の高齢者宅8件と市役所と両出張所でボランティアを行いました。組合員は、高齢者の手の届かない蛍光灯の交換などを行いました。

第20回公民館対抗カラオケフェスティバル
各地区の「のど自慢」が集結

9月24日、市文化センターで「第20回公民館対抗カラオケフェスティバル」が行われました。会場には、各地区の代表を応援しようと約700人が来場しました。今回は、チャンピオン大会として第11回から19回までの上位入賞者16人が参加しました。トップバッターの海江元勉さん（上原田区・第13回大会優勝者）は「最初でよかったです。今までになく気持ちを込めて歌えました」と話していました。



第20回西諸芸文連祭
131人が練習の成果を披露

9月17日、市文化センターで、第20回西諸芸文連祭が行われました。芸文連祭には、えびの市、小林市、高原町の27団体131人が出演。大正琴やフラダンスなどを披露しました。この催しは、西諸県の芸術文化振興を目的に毎年行われています。市内外から訪れた約350人が、熱演に盛んな拍手を送っていました。小林市からの来場者は「毎年楽しみにしています」と話していました。



国際交流フェスティバル in えびの
盛り上がった綱引き大会

10月2日、市国際交流センターで「国際交流フェスティバル in えびの」が行われました。会場は親子づれなど約900人でにぎわいました。このフェスティバルは、市民と外国人との交流の場として、市国際交流センターの主催で毎年行われています。会場では、特産品などの販売のほか、5人1組の綱引き大会などが行われました。綱引き大会では、勝敗が決まるたび大きな歓声が上がっていました。

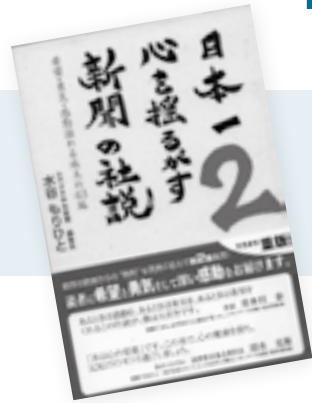


星空のビアガーデン
矢岳高原で男女が交流

9月17日、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場で「星空のビアガーデン」が開かれました。これは、若者同士の出会いの場を提供することを目的に、若者グループ「MAIKA」の主催で行われたものです。ビアガーデンには、男性34人と女性34人が参加しました。参加者は食事と会話を楽しみながら交流を深めていきました。MAIKA代表の丸濱晃一さんは「想像以上の盛り上がりでした」と話していました。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『日本一心を揺るがす新聞の社説2』

水谷もりひと／著
(株式会社ごま書房新社)

社説に毎週書き続けてある中から「心を揺るがす」ものをピックアップした書籍の第2集です。

事件、事故、政治経済など暗いニュースは一切出てきません。宮崎の話題にとどまらず、各種講演会を取材して感動した話、心温まる話だけが掲載されています。

深い感動、そして心に元気と力がみなぎる一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

今回の特集で、えびの駐屯地に数回足を運びました。最初に駐屯地に行った時は、駐屯地前のゲートを通るのにもすごく緊張しました。しかし、迷彩服を着て精かな隊員の皆さんは、実際に話をしてみると、えびの駐屯地司令をはじめ、大変ささくでした。

私の知らなかった駐屯地（駐屯地内に浴場や理容店などがあることなど）を知ることができ、貴重な体験となりました。（川野）

◎えびの市の人口

男性／9,891人（8人） 転入／58人
女性／11,246人（12人） 転出／26人
合計／21,137人（20人） 出生／12人
死亡／24人

◎えびの市の世帯数

9,321世帯（14世帯）

（平成23年10月1日現在）

今月の納税

市県民税 第3期
国民健康保険税 第4期
後期高齢者医療保険料 第4期
介護保険料 第4期
10月31日までに納めましょう。

心の一首一句

熟した柿を食べた時、なぜか遠い昔・・・幼い弟たちと夕暮れまで遊んでた事、物語を作った聞かせてくれた祖父、やさしかった祖母・・・セピア色した思い出、暖かい日なたの匂いに包まれた気がした。（自註）

俳句

遠き日の日なたの匂い熟柿食ぶ

岩切嗣子

短歌

陽の落ちて去の音聞こゆ心地よさ
手仕事止めて秋思うなり

西上江区 山本ハヤ子

思ひ出の地に
前未踏の
自己の内
曝け出せ
なかつた

そう遠く
ない旅に
出よう

認識の基
点として

出発の日
は晴れた
朝が良い

当てもな
い旅に出
よう

裸になれ
ない孤独
と厭世

でも復路
のない旅
は避けたい

旅に出よう
軽トラに
ビニール
シート

寝袋を乗
せて

岡松区

上村次郎

あなたもつくってみませんか。

（短歌）竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

（俳句）松山良文さん ☎ 0984 - 33 - 4904

（詩）ポエム同好会（市田寛幸さん） ☎ 0984 - 37 - 2528 まで



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

日常生活で体を動かすことも運動 ■中原栄養士（健康保険課）

「階段が上がった時の息切れ」「以前は楽々できていたことができなくなった」など普段の生活のふとした時に、体力の衰えを感じることはありませんか？

人によっても異なりますが、体力は20歳をピークに歳とともに低下していくと考えられています。

老化により体力が衰えるのは避けることができませんが、体を動かす生活習慣を身につけることで体力が衰えるスピードを遅らせることはできます。

健康づくりのための運動（身体活動）は、いわゆるスポーツとしての運動ではありません。日常生活の中で体を動かすこと（生活活動）も含まれます。なかなか運動をする暇のない人でも「駐車場では遠くに停めて多く歩く」「風呂掃除や床掃除、布団の上げ下ろしをする」「必

ず階段を使う」「子どもと遊ぶ」など生活活動を積極的に行えば身体活動量を増やすことができます。

デスクワークが多い人はストレッチ（柔軟性運動）を中心に行ったり、日常の徒歩を早歩きにしたりするなど、それぞれの生活に合わせた続けやすい運動習慣を実践することが大切です。

運動にはウォーキングなどの「有酸素運動」、ひざの曲げ伸ばしや腹筋などの「筋力運動」、筋肉や関節をほぐしたり、伸ばしたりする「柔軟性運動」の3種類があります。これらをバランスよく実践することで運動の効果はより高まります。

運動する時間がとれない・・・と言う人も、日常生活の中で意識しているような動きを取り入れて「体を動かす」ことを始めてみませんか！

ジェンダーの概念

社会通念や慣習の中にある、社会や文化によって作り上げられた「男性像（男らしさ）」「女性像（女らしさ）」のような男性、女性の別で物事を考えることを『ジェンダーの概念』といいます。

ジェンダーにより固定化された男女の性別による役割分担の意識「男は仕事を、女は家事・育児をする」といったような固定化された分担意識のことを『性別役割分担意識』といいます。

この概念や意識は、多様化する社会において、その人の持っている能力が発揮される機会を妨げ

男女共同参画だより

るものです。一人ひとりの個性（人権）を尊重することを阻むものになります。

誰もが自分を大切に、生きやすい環境・社会になるためには、一人ひとりが、周囲の環境を考え、その想いや気づきを見つめなおして『声』にしていくことが重要なのではないのでしょうか。

男女共同参画の講座等に参加してみませんか？

市では、多くの人が男女共同参画について考える機会を設け、各種講座等を実施しています。是非ご参加ください。



■お知らせ

年末調整等説明会を開催します

小林税務署では、市と共同で年末調整等の説明会を開催します。給料・賃金等を支払っている方はぜひ参加ください。

【開催日】11月22日(火)

【時間】午後2時～午後3時50分

【場所】えびの市文化センター2階大研修室

【対象者】えびの市内の源泉徴収義務者

問 小林税務署法人課税部門

☎ 23-3126

事業主の皆さん。労働保険の成立手続きはお済みですか

労働者(アルバイトを含む)を1人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。

厚生労働省では、11月を「労働保険適用推進強化期間」とし、適用促進の広報活動や加入手続指導に集中的に取り組んでいます。

労働保険未手続の事業主は、自主的に加入手続きをしましょう。

加入手続きは、最寄りの労働基準監督署または、ハローワークへご相談ください。

問 宮崎労働局

☎ 0985-38-8822

問 ハローワーク小林

☎ 23-2171

ご存じですか「税を考える週間」

11月11日から17日までは「税を考える週間」です。「税を考える週間」は、国民生活に深い関わりを持っている税について、その意義(必要性)と役割(使途)や税務行政の現状を分かりやすく説明するとともに、国の基本となる税に対する理解を深めるために設けられているものです。

今年は「税の役割と税務署の仕事」をテーマとして、経済活動のIT化・国際化をはじめとした社会・経済情

勢の変化に伴う税務行政のさまざまな取り組みの紹介などを行うことにしています。

国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)では、特集ページを開設し、テーマに即した情報を提供するほか、広く国民の皆さんから国税に対する要望等を聴取するためのアンケート窓口を開設しますので、ご利用ください。

問 小林税務署

☎ 23-3126 (自動音声案内)

■催し・イベント

新田原基地航空祭 2011 開催

航空自衛隊新田原基地で「新田原基地航空祭 2011」が行われます。

【開催日】12月4日(日)

【時間】午前8時30分～午後3時

【主要イベント】「ブルーインパルス」のアクロバット飛行、各種戦闘機などの飛行展示など

【入場料】無料

【アクセス】基地内に一般駐車場はありません。航空祭臨時駐車場(無料)からのシャトルバス(有料)を利用ください。

問 航空自衛隊新田原基地広報班

☎ 0983-35-1121 (広報班)

■募集

宮崎県国民健康保険団体連合会職員を募集します

宮崎県国民健康保険団体連合会では、平成23年度職員採用試験を実施します。

【採用予定人員】若干名

【職種】一般事務

【受験資格】昭和62年4月2日以降生まれの大学および大学院を平成23年度卒業見込みの者(短期大学は除く、新卒に限る)

【試験日】平成23年11月13日(日)

【受験手続】

宮崎県国民健康保険団体連合会総務課に置いてある申込書を記入の上、平成23年10月28日(金)までに宮崎県国民健康保険団体連合会総務課へ提出してください。

*その他詳しいことについては、宮崎県国民健康保険団体連合会総務課までお問い合わせください。

問 〒880-8581 宮崎市下原町231番地1

宮崎県国民健康保険団体連合会総務課

☎ 0985-25-4901

宮崎公立大学の学生が指導しますパソコン講習会受講者募集



宮崎公立大学の学生によるパソコン講習会を行います。インターネット・電子メールの使い方や、ツイッター・スカイプの利用方法など。興味がある方、初めての方、ぜひお気軽にお申し込みください。参加費は無料です。

119 だより

体調管理には十分ご注意ください

朝夕は、ますます冷え込み、体調管理が難しい時期になってきました。

年々この時期から高齢者の救急搬送が増加しています。

特に夜から朝にかけて急激な温度変化により体に対応できにくくなっているようです。

これからの季節、寒暖の差が激しくなってきます。日々の体調管理には十分注意してください。

9月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	8件
	救急	70件	年計	579件

■えびの消防署 ☎ 33-6119

110 だより

後部座席もシートベルト着用を

平成20年6月の道路交通法改正で、後部座席のシートベルト着用が義務化されています。

宮崎県の一般道路での後部座席同乗者のシートベルト着用率(平成22年10月調査)は、14.7パーセントで、全国最下位です。チャイルドシートの使用率(平成23年5月調査)は、39.0パーセントで、全国ワースト4位です。

交通事故にあった場合、車内に安全な場所はありません。運転席や助手席ばかりではなく、後部座席を含めた、『全席シートベルト着用』に心がけましょう。

9月の交通事故発生状況	人身	11件	本年9月末	91件
	物件	32件	本年9月末	240件

■えびの警察署 ☎ 33-0110

【おわびと訂正】
9月号「お知らせコーナー」の「自衛隊基地創立記念行事」の中でえびの駐屯地仲司司令を仲司指令としていました。「秋の行政相談週間です」の中で行政相談委員を行政相談員としていました。おわびして訂正します。

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

156

ツクツクボウシと熟柿



夏の終わりを告げるように鳴く、ツクツクボウシ

暑い夏の終わりを告げるかのように、ツクツクボウシの鳴き声も日に日に少なくなっています。鳴き声の後半は「ジユクリツシヨ」と聞こえます。そのため、このセミのことをジユクリツシヨとも呼びます。ジユクリツシヨとはジユクシ（熟柿）の薩摩方言で、熟れ過ぎた柿のことを言います。果肉が、やわらかく甘い味です。昔、子どもたちは、おやつ代わりにジユクリツシヨを食べました。柿ぢぎりとはツクツクボウシの鳴く声が、秋の情景としてなつかしく想い出されます。

暑い夏の終わりを告げるかのように、ツクツクボウシの鳴き声も日に日に少なくなっています。鳴き声の後半は「ジユクリツシヨ」と聞こえます。そのため、このセミのことをジユクリツシヨとも呼びます。ジユクリツシヨとはジユクシ（熟柿）の薩摩方言で、熟れ過ぎた柿のことを言います。果肉が、やわらかく甘い味です。昔、子どもたちは、おやつ代わりにジユクリツシヨを食べました。柿ぢぎりとはツクツクボウシの鳴く声が、秋の情景としてなつかしく想い出されます。

樹液を吸って成長します。地上に出た成虫の寿命は一週間と言われますが、実際は一か月ほど生きることがわかっています。また、鳴くのは雄だけです。ハルゼミは四月～六月に現れ、晴れた日にマツ林でギーギーと合唱します。ニイニイゼミは六月～九月に現れ、明け方から夕方近くまでニイイという連続音で鳴きます。ヒグラシは六月～十月にかけて、早朝と夕方が高い声でカナカナと鳴きます。クマゼミは日本最大のセミで、七月～九月上旬の午前中と夕方にシャーシャーと大きな声を出します。アブラゼミは七月～十月に出現し、昼ごろから午後にかけてジリジリと鳴きまです。アブラゼミが鳴くと、夏が一層暑く感じられます。ミンミンゼミは七月末～九月下旬に見られ、午前中から午後にかけてミンミンと鳴きます。ツクツクボウシは七月末～十月末に鳴き、「ツクツク法師」と聞こえます。

（文）市歴史民俗資料館

広報えびの
2011
10
月号

平成23年10月20日発行

発行／えびの市役所 編集／企画課情報係
住所／宮崎県えびの市大字栗下1292番地 ☎0984-35-1111